

(別記)

朝日町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕地面積に占める主食用米面積の割合が約 70%で、転作作物に占める小麦が多く、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。

しかしながら、主食用米の需要減、農業者の高齢化、後継者不足、農業生産性の低下などが顕在化する中、担い手の育成と土地利用の推進が大きな課題となっている。また、全農家に対して行ったアンケートでは、約 70%の方が将来的に農地を維持できないため、農地利用調整組織の必要性を感じていることから今後組織立ち上げに向けて検討していく必要がある。

2 作物ごとの取組方針等

町内の約 100ha の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

需要に応じて、食の安全を踏まえた消費者が求める米づくりの推進を行い、消費拡大を図っていく。

(2) 麦

ブロックローテーションを継続し、種子消毒による病害防除や排水対策(弾丸暗渠、畝立播種、深耕体系)による生産性の向上と実需者の求める品質を目指した栽培を図り、本作化に向けた取組を推進する。

(3) その他地域振興作物(野菜、花き・花木、果樹等)

市場から評価されているシクラメンなどの地域の特色ある農産品については、作付・生産の維持・拡大を図り、その他、直売所等で需要のある水田を活用した野菜・果樹・花き・花木などについても、作付の定着を促し、地域農業の発展を推進する。

(4) 不作付地の解消

条件が悪い農地については、畦畔除去等により大区画し担い手等へ貸付を推進する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	51.4	51.2	51.0
飼料用米			
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS 用稲			
加工用米	0.5	0	0
備蓄米			
麦	39.3	40.0	40.2
大豆			
飼料作物			
そば			
なたね			
その他地域振興作物	0.40	0.40	0.45
野菜	0	0	0
花き、花木	0.40	0.40	0.45
果樹			
その他			

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	現状値	目標値
				(H29 年度)	(H32 年度)
1	麦	単収向上	取組面積	39.3ha	40.2ha
			単収	159kg/10a	170kg/10a
2	別表で指定した 高収益作物	高収益作物助成	取組面積	0.40ha	0.45ha